

子ども読書活動推進計画策定委員会 議事録

審議会等名 平成30年度 下野市第1回子ども読書活動推進計画策定委員会
日 時 平成30年6月26日(火) 15時30分から16時30分まで
会 場 下野市石橋図書館会議室
出席者 坪山委員長、有野副委員長、倉井委員、坂口委員、下山委員、城鳥委員
海老原委員、落合委員、所委員、
【欠席委員】晴山委員
市側出席者 (事務局) 坪山教育次長、手塚課長、伊澤館長補佐、角田主幹、大門主幹

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 なし

報道機関 なし

議事録(概要) 作成年月日 平成30年7月16日

【協議事項等】

- 1 開会<角田主幹>
あいさつ<池澤教育長>
- 2 委嘱状の交付<池澤教育長>
教育長 要綱第5条第2項により委員長には教育次長、副委員長には下野市図書館協議会
委員長となる。
- 3 あいさつ<委員長>
- 4 委員及び職員自己紹介<資料・・・出席者名簿>
- 5 議題

(1) 子どもの読書活動推進計画(第三次)策定の経緯及び策定のスケジュールについて

【質疑等】

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料1により説明。
(名簿、設置要綱(抜粋)等説明)

委員長 実際にこの第二次計画は平成26年3月から5か年計画で31年3月に5か年が終了となるため、31年度からの計画を作っていく。本来であれば5年計画だが総合計画が32年度までのため、その年次に合わせるものとし、この三次策定は31、32年度の2か年計画となる。今後は、この委員会の下に専門委員会を設置し、中味を検討し、素案を作成して、委員のみなさんに検討していただく。

(2) 第二次計画の進捗状況について

【質疑等】

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料5のとおり、A～D評価で評価した。Dはないが、Cが5点ある。今回はC「一部課題がある」について聞かせていただく
(一部課題があるについて説明)

委員長 質疑等ないか。

委員 「子ども夢基金」はよくある基金だが、これ以外に市も含めてボランティア活動に関する補助金や助成金など視野を広げた部分はないのか。

事務局 「子ども夢基金」とは、あくまでボランティアに対する助成となる。読書活動に関するものなので、他に施策があれば取り入れたい。

(2) 第三次計画の推進方針について

【質疑等】

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料6のとおり、今後の方針として、「A優れている」「B概ね良好である」は継続とし、今回「D改善が必要」はなかったため、「C一部課題がある」について検討していただきたい。

(Cの振り返りを読み上げる)

また、A及びBについては継続でよろしいか。

(全委員了承)

それでは、A及びBは継続とする。Cの5点について意見ををお願いします。

委員長 改善策の意見をいただきたい。

委員 全く実施していない訳ではないが、問題があるとしてこのような評価につながっていると思うので、どのようにして見直さなければいいのかと思う。

事務局 「本をプレゼントしよう」だが、経費がかかる方向で考えていたが、本を買ってプレゼントするだけではなく、例えばお話を読んであげることをプレゼントにするなど経費をかけなくても図書館で本を借りて読み聞かせるなどあれば、図書館でも無理なく今後の進捗ができる。

委員長 そういったかたちでCが1個でもあれば、改善策を考えていく方向でよろしいか。

(全委員了承)

事務局 専門部会でも、そのように検討させていただく。

委員 個別のところでは「ブックスタート事業を通じた家庭での読み聞かせ」とあるがどのようなものか。

事務局 ブックスタートは健康増進課で9か月健診の日に本をプレゼントして、その際に乳幼児向けリストを配布している。

委員長 次に29番について質疑等あるか。

事務局 学校図書館担当者との研修だが、昨年までは図書館、学校それぞれで研修をしていた。今年は合同で開催し支援員も来られる体制にし、学校教育課と協力してできるだけ多くのかたが来られるようにしたいと考える。ボランティアとの交流会では、今まで会議室で意見交換をするだけでそれ以上の発展はなかったが、昨年、ボランティアのスキルアップのために先進地の視察をしたという意見があった。このような意見をいただき、今回から意見交換をするだけではなく先進地視察など、取り入れていきたい。

委員長 次の「33番研修会への参加」「34番『子どもゆめ基金』等の情報提供」、「35番定期的なボランティアの情報交換会の実施」について質疑等ないか。専門部会のほうでも中味を検討させていただき、改善点を加えていきたい。では、いただいた意見を加えて専門部会で検討させていただき、新たな三次

計画の具体的な方策を検討させていただく。

事務局 図書館の実施する取り組みの中で新規に3点加えてある。子ども司書体験講座の実施、学校図書室支援、ICTなどの活用による情報提供の充実である。
(各事業について説明)

委員長 このような新規の事業も加えたうえで、三次計画に取り組んでいくということで、よろしいか。
(全委員承認)

(4) 子どもの読書活動に関するアンケート実施について

【質疑等】

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料4のアンケートのとおり。アンケートは、小学2年生及び5年生、中学2年生、幼稚園や保育園の保護者が対象となっている。P37小学生P38中学生だが、9の「家読をしたことはありますか」を新しく付け加えた。

委員長 基本的にアンケートについては第二次計画と比較するために同じような内容にさせていただいた。

委員 中学生はこの文章で分かると思うのだが、小学生はいかがか。

委員 担任が説明すれば大丈夫かと思う。また、ふりがなをふらないと分からないと思う。

事務局 それでは、2年生と5年生を一緒にして、ふりがなをふるかたちにしたい。内容も同様にしたい。また、アンケートの読んだ冊数は選択式とし、11～15冊、16～20冊を加えたものとする。これは小学生から中学生も統一する。このアンケートは7月2日頃に配布し、夏休み前に回収する。

(5) その他

【質疑等】

事務局 第2回目は11月上旬を目途の開催となる。

以上で閉会とする。